

Johann Christian Friedrich Hölderlin

# 長島剛子・梅本実 リートデュオ・リサイタル

世紀末から20世紀へPartXIV〈ヘルダリーンの詩による歌曲〉

ULLMANN

ヴィクトール・ウルマン(1898-1944)「沈む太陽」「春」「夕べの幻想」

REUTTER

ヘルマン・ロイター(1900-1985) ヘルダリーンの詩による3つの歌曲作品67

KOMMA

カール・ミヒャエル・コマ(1913-2012) ヘルダリーンによる五つの断章

RIHM

ヴォルフガング・リーム(1952-) 歌曲集作品1より「人生の半ば」 他

〈札幌公演〉

2015年10月26日(月)19時開演

ふきのとうホール

札幌市中央区北4条西6丁目3-3六花亭札幌本店7階

全自由席:3,000円

お問合せ: 平和ステージ・オフィス Tel.011-665-0675

チケット取扱い先: 大丸・道新・教文の各プレイガイド

〈東京公演〉

2015年11月2日(月)19時開演

東京文化会館小ホール

JR上野駅公園口前

全自由席:4,000円

お問合せ: 日本演奏連盟(コンサートアシスト) Tel.03-3539-5131

チケット取扱い先: 東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650

\*このリサイタルは国立音楽大学個人研究費(特別支給)の助成を受けています。

主催: 長島剛子・梅本実リートデュオ

後援: 札幌市 札幌市教育委員会 公益財団法人 道銀文化財団 北海道新聞社 公益社団法人 日本演奏連盟 日本アルバン・ベルク協会

長島 剛子(ソプラノ)

梅本 実(ピアノ)

# Takeo NAGASHIMA & Minoru UMEMOTO LIED DUO RECITAL



## 長島 剛子 (ソプラノ / Takeko NAGASHIMA)

札幌に生まれる。北星学園女子高等学校音楽科を経て、国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修士課程独歌曲専攻修了。ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。その後ケルン音楽大学マスタークラスにてリート解釈法の研鑽を積む。1998年に「長島剛子・梅本実 リートデュオ」を結成し、声楽とピアノによる緊密なコラボレーションにより、19世紀末から20世紀のドイツ歌曲の演奏と紹介を軸に継続的な活動を続けている。2001年にスタートした「世紀末から20世紀へ」のリサイタルシリーズは昨秋で13回を数え、その間、知られざる作曲家を含め、のべ33人の近現代作曲家の作品を取り上げたが、19世紀末以降のドイツ歌曲を網羅するレパートリーの広さは他の追随を許さない。またシリーズごとにテーマを設定し、様々な切り口でドイツ歌曲をプログラミングする独自の企画とその演奏水準の高さで毎回多くの反響を得ている。



1998年「新ウィーン楽派」、2001年「世紀末から20世紀へ」のリサイタルにより札幌市民芸術祭大賞。また2003年1月には前年の「長島剛子・梅本実 リートデュオ・リサイタルー世紀末から20世紀へPart II (シェーンベルク:『架空庭園の書』による15の歌曲他)」により平成14年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞している。2015年3月にコジマ録音よりCD「架空庭園の書 新ウィーン楽派の歌曲を集めて」をリリース。青木恵美子、伊藤京子、尾畑真知子、H.クレッチマー、白井光子、H.ヘル

の各氏に師事。現在、国立音楽大学准教授。日本演奏連盟会員。

## 梅本 実 (ピアノ / Minoru UMEMOTO)

長崎に生まれる。幼少の頃よりピアノを始め、福岡音楽学院で学ぶ。東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程器楽科ピアノ専攻修了。末永博子、勝谷壽子、伊達純の各氏に師事。ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。さらに引き続きハンブルクにて研鑽を積む。R.F.クレッチマー、C.ハンゼンの各氏に師事。

帰国後東京、札幌、福岡各地でソロリサイタル開催。札幌交響楽団、九州交響楽団と共演。またドイツ歌曲の共演ピアニストとして各地で幅広い活動を続けている。文部省在外研修員としてドイツ・カールスルーエ音楽大学において白井光子・H.ヘルのドイツリート解釈法クラスで学ぶ。作品内容的確な把握に基づいて、響きを繊細にコントロールするピアニズムは長島とのリートデュオに遺憾なく発揮されている。



「札幌市民芸術祭大賞」(1999年、2002年)、「第9回道銀芸術文化奨励賞」(2000年)、「第29回札幌文化奨励賞」(2001年)、「平成14年度文化庁芸術祭優秀賞」(2003年)受賞。北海道教育大学助教授等を経て、現在国立音楽大学准教授。日本演奏連盟会員。

## 長島剛子・梅本実リートデュオによるリサイタル

- |   |  |
|---|--|
| 1998年10月 新ウィーン楽派の歌曲を集めて<br>(ツェムリンスキー、シェーンベルク、ベルク、ヴェーベルン)                              | 2008年10月 世紀末から20世紀へPart VII<br>—メーリケとヘルダリーンの詩による歌曲を集めて<br>(フランツ、プフィツナー、シェック、ヴォルフ、アイスラー、コマ、ロイター)                    |
| 1999年10月 ゲーテの詩による歌曲を集めて<br>(シューベルト、リスト、R.シュトラウス、ヴェーベルン、グリーグ、メンデルスゾーン、ヴォルフ)            | 2009年10月 世紀末から20世紀へPart VIII<br>(マルクス、ヴェーベルン、ヒンデミット)   |
| 2001年6月 世紀末から20世紀へ—二人のマラーをめぐる作曲家たち<br>(A.マラー、G.マラー、コルンゴルト、ヴェーベルン、R.シュトラウス)            | 2010年10月 世紀末から20世紀へPart IX—ユダヤ人作曲家の作品を集めて<br>(グロス、ウルマン、ヴァイル、マラー)   |
| 2002年10月 世紀末から20世紀へPart II<br>(シュレーカー、マルクス、シェーンベルク)                                   | 2011年10月 世紀末から20世紀へPart X—第三帝国で禁じられた歌曲<br>(ヒンデミット、コルンゴルト、クルジェネク、マラー)   |
| 2003年10月 世紀末から20世紀へPart III—ヴォルフとその後<br>(ヴォルフ、プフィツナー、クルジェネク、ロイター)                     | 2012年10/11月 世紀末から20世紀へPart XI<br>—シェーンベルク「月に憑かれたピエロ」誕生100年を記念して<br>(コバルスキー、マルシャルク、ローター、フリースランダー、マルクス、川島素晴、シェーンベルク) |
| 2005年10月 世紀末から20世紀へPart IV—A.シェーンベルクの歌曲<br>(「月に憑かれたピエロ」他)                             | 2013年10月 世紀末から20世紀へPart XII—新ウィーン楽派の歌曲を集めて<br>(ツェムリンスキー、ベルク、ヴェーベルン、シェーンベルク)  |
| 2006年10月 世紀末から20世紀へPart V<br>(R.シュトラウス、ヴォルフ、マラー「大地の歌」(ピアノ版)他)                         | 2014年10月 世紀末から20世紀へPart XIII—マラーとシュトラウスの歌曲<br>(G.マラー、R.シュトラウス)   |
| 2007年10月 世紀末から20世紀へPart VI<br>—ツェムリンスキーを巡る作曲家たち<br>(ツェムリンスキー、A.マラー、ベルク、ヴェーベルン、コルンゴルト) |  |

人間の内面をえぐる、新たな美学に貫かれた歌がここにある。

## 架空庭園の書

### ～新ウィーン楽派の歌曲を集めて～

シェーンベルク

プレットリナーより 4つの歌曲 作品2

シュテファン・ゲオルゲの『架空庭園の書』より15の歌曲 作品15

ヴェーベルン

『第7の環』による5つの歌曲 作品3

ベルク

4つの歌曲 作品2

長島 剛子 (ソプラノ) 梅本 実 (ピアノ)

製造・発売元:コジマ録音 ALCD-9147 税込価格¥3,024



レコード芸術2015年5月号

・・・『架空庭園の書』はこれまた世紀末風のエロスの奥深い神秘感に貫かれ、出口のない愛の高揚感と停滞感、緊張感と安堵感、闇の親しみと不安のなかでほのかに明るい出口をまさぐる様子を的確に表現している。新ウィーン楽派の持ち味にピアノとともにこれほど魅力的に迫りえた演奏もまた。 (喜多尾道冬)

音楽現代2015年5月号

・・・ロマン派的な作品はロマン派的に、表現主義的な作品は表現主義的に。作品のあるべき姿がストレートに提示される。これは、楽曲を真摯に分析し、顕微鏡的に精緻な演奏を行い始めて実現する地帯。・・・『架空庭園の書』の演奏も、後進の指標となり得る見事さだ。(石塚潤一)